

甲賀地域青年農業者プロジェクト発表会を開催

2 月 4 日（火）、甲賀合同庁舎において、甲賀地域青年農業者クラブ（Koka CFA）主催により甲賀地域青年農業者プロジェクト発表会が開催されました。発表会には、青年農業者・指導農業士・関係機関等から約 50 名が参加し、プロジェクト活動に取り組んだ 3 個人、3 グループが発表しました。

1 年間取り組んできた内容を、発表時間 10 分という限られた時間で説明するため、発表者は図表などをうまく使用し、分かりやすく説明されていました。

発表に対して「水稻の栽植密度を 50 株と疎植にしたのはなぜですか」といった栽培に関するものや、「茶の刈下は一般的にどのような形で利用されているのですか」といった知識を確認するものなど、多くの質問が出されていました。

また、審査員からは、「プロジェクトを通して得た経験を、今後の経営や農作業改善に活かしてもらいたい」といった今後に期待する意見が出されていました。

審査の結果、湖南省農業後継者倶楽部 88 が取り組んだ「地元企業との連携による酒米を利用した 6 次産業化の検討」が最優秀賞を、佐伯友樹さんが取り組んだ茶の課題である「一番茶の剪枝時期・深さの違いが秋整枝時の茶樹の生育に及ぼす影響」が優秀賞をそれぞれ受賞し、3 月 5 日に行われる県のプロジェクト発表大会で甲賀地域代表として発表することになりました。

今回の発表会では、Koka CFA の会員をはじめとする地域の青年農業者が、指導農業士など普段交流がない方々と発表を通して相互研鑽が図れたのではないかと思います。

今後も関係機関と協力し、プロジェクト活動の支援を行います。



プロジェクト発表風景



最優秀賞の表彰を受ける
湖南省農業後継者倶楽部 88